

# Dance Wing

<http://www.wingclub.co.jp>

ダンス ウイング

Vol. 34

新春特別号



ロンドンから届いた最新モード

◎宇賀千咲が貴女をいざなう

◎柴田誠子が厳選!

「個性で着こなす!」

流行ヘアコレクション

ドレスの競演

「メンズ・エレガントの今」

◎竹橋順二が分析する

豪華商品が  
当たる  
プレゼント  
コーナー

感動人間ドキュメント

関曙慶

「仕事も趣味も充実した我が人生  
利害なき趣味の仲間こそ宝物」

劇的に変わる!

吉野順子の

アイメイク講座

Lesson

ピノ組に学ぶ

タンゴの緩急

○紹介ライター  
ホバ・コルテ/セイムラット・ランシエ

# 仕事も趣味も充実した我が人生 利害なき趣味の仲間こそ宝物

今日お話をうかがった関曙慶さんは、28歳の時、「生涯で10回の引越しと、10カ所の不動産登記」を決意したそうです。「間違った目標でさえなければ、必ず実現させるという信念の下、すべてを手に入れてきた。僕に足りないのは髪の毛だけ」という明るい関曙慶さんに、今日はダンス愛好家として、また一経営者としての、人生の秘訣をうかがいました。

## ダンス 人間 模様

34



伊藤肇子先生とダンスを踊る関曙慶さん



関曙慶さん (泰彦改め)  
曙建設(株)代表取締役

### ハンカチ一枚に厚みを

自分でいうのも何ですが、私のすごいところは(笑)仕事と趣味を両立し、継続！目標は何年かけてでも実現させるという粘り強さです。

社長だから仕事はできて当たり前。それはいわば「ハンカチ一枚」にすぎません。でもどうせなら厚み、つまり教養ある人間になりたいと思ひ、茶

道、書道、弓道、それにダンスの静と動を続けて居ります。

ダンス歴はいちばん長く、もう41年にもなります。きっかけは大学に入った時。母が「お前は背も低いし不器量だから」と、私の行く末を心配して「ダンスを習いなさい」。その夏休み、シンガポールまで船旅をしました。毎晩のように、ダンスパーティーが開かれます。私は毎日、汗で洋服が真っ白になるまで踊り明かしました。母の英断のおかげで女性達と踊ることができたのです(笑)。

やがて大学も卒業し、めでたく結婚相手にも恵まれましたが、妻には長年、ダンスをしていることは秘密でした。結婚する時になぜか「お茶やダンスなどしていいでしょか」「はい、してません」と答えてしまったからです。ところが度々香水の匂いをつけて帰っていくわけで、妻の疑いは深まり、ある日どうとう自白することになった。

当時、ステップダンスの小松美年子先生に正式にご指導頂いていたのですが、それを機に辞める事も考えていました。ちょうどそのころ取引先の(株)オムロンが、ランドマークタワー内に健康と仲間づくりを二本柱とした「カズ健康院」を開設。入会し初めはストレッチのクラスにいたのですが、ダンス講座に移籍しました。講師は、黒の西岡ダンススクール伊藤肇子先生。以来12年、すばらしい仲間にも恵まれ、充実したダンスライフを送っています。伊藤先生は教室じゅうのアイドルで、もちろん僕も親衛隊の一人です。

2年前の7月7日、我が社では第二本ビルを竣工したのでありますが、その10階に茶室とダンスフロアを造りました。弓道だけは無理ですが、自分がやってきたことを今度は教室という形で社会還元したいと思ひまして現在講師の方々を招いて勉強会を開くなどして活

用しています。

伊藤先生は「立派な茶室が邪魔している」と言って、しばらくは講師を受けて頂けませんでした。しかし実行できる環境を先に整えて最初15人ほどの有志を集め、先生にも「しよがな、行ってやるか」と思わせるように仕向けてしまったのです(笑)。

社長室には、茶道、書道、弓道に関する私の証拠品などが飾ってあります。残念ながらダンスは写真ひとつなかった。余った壁にきれいな写真を飾って、私の「ハンカチの厚み」が一目でわかるようにしたいと思ひ、初めてのデモを伊藤先生にお願いしたのです。

## 徹底してこそ効果あり！ 7並びのゲンかつぎ

先生と踊ったのは、新たに造ったメディカルビルの落成式。取引先の方々もお招きしたパーティーで、06年7月7日の17時7分7秒びつたりにワンステップ目が出るよう、綿密に計算しました。この時を逃さないというのにはけっこう大変でした。デモの準備のために体重3キロも落ちたんですから(笑)。

燕尾服を着用して緊張しました。日頃先生に音楽を体で感じ表現しましたよと言われ、お蔭様で練習時の様に、



パートナーとレッツ！ダンス/タンゴを披露しかなり緊張



曙建設(株)49周年とメディカルビル ヴィラ・デル・ソレ園山の竣工を記念したパーティーをH18年7月7日17時7分7秒にセントジュームスクラブ荘で開催!! パーティーでダンスを披露した伊藤肇子先生と仲間達

ワルツの世界に入ることが出来ました。もうお気づきだと思いますが、僕は「7」にすごく執着していて、何でもかんでも7並びにしている。きっかけは「6777」ナンバーの車に乗っていた時、会社の景気がいいのはそのせいじやないかと人に言われたことです。それ以来、何でも7。次の愛車は三菱のデポネアですが、ナンバーはもちろん「横浜77に7777」。「な」でなく「に」にしたのは日光東照宮で学んだ「完璧すぎるのは神仏に対して不遜・魔が差す」という考え方によるものです。会社には37台の三菱の車があります。それらはすべて7並びナンバーで統一しています。資本金は「7777万7777円」、49周年の7月7日に増資しました。起工式も竣工式も「7時7分7秒ちょうど」。経常利益や売上金も、だいたい7並びになるから不思議です(笑)。

それは趣味の世界でも徹底していま

どうせ習うなら本流に習いたいというのが僕の夢で、26年かけて実現させたのが、伊勢山皇大神宮で家元の献茶式を開催です。それは家元が77歳の時、掛け軸は松窓七五片閑雲、茶碗は7代目楽の長入と、やはり7にこだわりました。

実は私の誕生日は「ダンスウイニング」の発売日の1月1日です。還暦を迎えます。そんな時に掲載されるというのも、やっぱりおもしろい巡り合わせだと思いますね。還暦祝いはもちろん1月11日、17時7分7秒開始。そうした数並びのゲンかつぎは、徹底して楽しんでみると本当に何かがつながり始めるから不思議です。

**感謝してこそ生まれる自信**

何かがつながる、といっても、漫然と過ごしていたのではダメですよ。大事なことはやはり、人のつながりを大事にし、感謝の気持ちを忘れないことです。

先ほど、車は三菱というお話をしましたが、これは三菱が我が社のお得意様だからです。私はお得意様のものしか使わない。人の目がないところでも、それはもう徹底しています。

たとえばお菓子なら森永です。孫にも喜ばれているんですよ。去年購入した三菱デュークニティーには森永のエンゼルマークに見えるよう、ロールスロイスのエンブレムを金メッキしています。義理あるところに忠誠を誓う。感謝の言葉は常に口にして、有言実行です。

そうした理屈で、花王にも営業をかけた。我が社は工場や物流倉庫を得意とする建設会社なのですが、取引先には一流企業しかない。なのに御社の名がないのはおかしい。私は朝、花



H17年10月15日曙建設(株)48周年を記念したパレード/77-77ナンバーの三菱自動車も24台連ねて、横浜を出発して銀座を一周して三菱自動車工業(株)本社に訪問、三菱本社品川三菱ビル前にて曙社長スポーツカー エクリプスに乗り万歳のポーズ!!

王の歯磨き粉で歯を磨き、夜は花王のシャンプーで髪を洗っている。妻の化粧品もすべて花王だ。なのに御社が我が社に発注しないのは解せない(笑)。この理屈で10回通い、名刺は10枚置いた事になりました。名刺が10枚たまったら電話欲しい、と伝えていたのですが、ついにその日が来たのです。

母の葬式の日。会社に戻ると本当に不思議なんです。フアックスが届いていました。初受注です。そして3回忌の日にも、受注額1億円に達する発注書が届きました。

私のゴリ押しの営業もさることながら(笑)、それは母からの贈り物だったと思います。お得意様と並び、親は大事にしなければいけない。私は2代目ですが、両親への恩は決して忘れたことがありません。

やはり「先祖二親一妻」への感謝は成功へのカギだと思います。特に親と妻への感謝気持ちは文字に書き起こし、本社ビルに彫り込んでいます。

# ダンス人間模様

## 3つのポリシーを立ててみる

会社経営の上でも、また自分の人生を考へる上でも、僕はいつも3つのポリシーを立てるようにしています。

まず、人間として心がけていることは「3配り」。氣配り、心配り、金配りです。金というのは資金援助にしろ労働にしろ、出し惜しみをしないという意味です。

また、経営者として大切にしているのは「3P」。パフォーマンス、パッション、ポジティブです。最初私は「仕事とは劇場のようなもの。熱情をもって積極的に行動すれば願いはかなう」と理解していました。でも3つの言葉にはそれぞれ「実行・成就」「激情」「肯定」という意味もある。私は何でもYESから入り、激しい思いをもって必ず実行・成就しようと考えているのです。

還暦を迎えた今の心境は「3S」。「Say Young」「Stay Young」「Think Young」。つまり若々しく話し、若々しさを保ち、そして若々しく考えるということ。最後が「S」でなく「Th」なのはご愛嬌。

私は揉上を黒く染めているんですよ。鏡に映る自分が老けて見えた時、気分が暗くなったから。気持ちに張りを持ち、創立77周年を迎える87歳までは、すべてを続けるというのが今の目標です。



小笠原道弓道2段(会の姿) / 書道と弓道で目標10段現在12段目標達成!!

報しか伝わらない。でも手書きの文字があれば、おおよその人柄はわかるというもの。そこで私は、すべての名刺の裏に、毎年4文字の言葉を決めて書をしたためることにしました。おかげさまで今では10段。先日、師弟一門でニューヨークに行き、展覧会を開いたのですが、何とメトロポリタン美術館が、私の作



伊勢山皇大神宮第10回茶会 / 現16代黒千家宗元をお迎えして執り行われる。(H12年09月29日社報「伊勢山」より抜粋(1))

## 懸命に、必死に努力すれば人生は自然につながっていく

茶道は2年前に教授の資格を取りました。ダンスの「動」に対し、「静」の間が欲しくて始めたのです。弓道も精神統一のために始めました。これは2段の腕前です。

そして書道。これはいつだったか故・中内功さんと名刺交換したときに、何かの返礼が来たのですが、そこにみごとな署名が入っているのを見て感心したのです。名刺だけなら表面的な情

報しか伝わらない。でも手書きの文字があれば、おおよその人柄はわかるというもの。そこで私は、すべての名刺の裏に、毎年4文字の言葉を決めて書をしたためることにしました。おかげさまで今では10段。先日、師弟一門で

品を買いたいといってきたんです。まだ商談はまとまっていますせんが、まあいい気分じゃありませんか(笑)。ちなみに、曙慶という名は書道の雅号です。お茶で「翠庵宗元」という名を名乗っていたので、「曙」を生かして命名していただきました。

いずれも奥深い文化ですが、やり直そうと思えばやり直せます。でもダンスだけは一瞬ごとの緊張がものを言う世界。しかも相手です。常に相手のことを思いやり、尊重し、リードし……パートナーに限らず、利害関係抜きで大勢の仲間ができる、すばらしい文化だと思えますね。

とはいえ、実際に私は、ダンスの人脈から仕事につながった例をいくつも経験しています。意図するのではなく、自然につながっていくのです。

たとえば三菱との出会い。これも実は、ダンスが絡んでいます。ある日、立教卒の仲間と飲み約束をし、2時間待たされたことがありました。その時、立教大の悪口を言っていましたところ立教出身の人が店にいていきなり怒鳴りました。私の息子が立教小に通っていたんですけど……

翌日、クリフサイドにダンスをしに行



H18年10月26日～11月06日メトロポリタン美術館購買担当者(女性)と!! 後ろは開帳慶作「佛心」、後ろ(男性)在ニューヨーク首席領事佐藤博史氏

ももっとも、おもしろいお話もあるんですが、それはまたの機会ということにして、今日はこのへんにおきましょう。とにかくダンスは私の人生の一部。これからはもっとデモをしようと思っていますので、みなさん、よろしくお願ひします。

つたのです。何とケンカの相手がいるではありませんか。その妙な縁の中で三菱の人とも出会い、車を買うことになったというわけです。

三菱からはすぐに仕事が入り、今につながっています。その時買った車が例の「6777」ナンバーだったのでから、巡り合わせっておもしろいですね。

他にも、伊藤先生が初出場の競技会ノービスで優勝したのはクリフサイドだったとの事。ダンスで培った人間関係は、人生そのものをつないでくれるという実感がありますね。



畑田青蘭と書道院展 / 於日本クラブ書道院・院長畑田青蘭先生(中央)古希の御祝い誕生日、在ニューヨーク日本国総領事館後援